
ドッペルゲンガーよ、さようなら

田中なのか？

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドッペルゲンガーよ、さようなら

【Nコード】

N3350BA

【作者名】

田中なのか？

【あらすじ】

突如目の前に現れたもう一人の俺
特に俺より優れても劣ってもいないもう一人に出会ったことにより
少しばかり運命が変わっていく！

その1

朝起きると、目の前に俺がいてちゃっかりマンガを読んでいた…
これがもうひとりとの俺との出会いだった。

俺は、黒田礼二《くろだ れいじ》（20歳）独身一人暮らしとして、読者の皆さんにはわからないだろうが横にいるのがもう一人の黒田礼二《くろだ れいじ》（以後2代目）である。

この2代目は俺と違ってよくできるなんてことも対峙するなんてこともなくむしろ仲がいい。

一見自分と仲がいいなんて「気持ち悪っ」なんて思うだろうが慣れると楽しくなってくる。

でもこいつ二十歳という大事な時期に現れるや否や普通に俺の家に住み着きやがったのである。

しかし大して害はなく俺が大学に行ってる間に買い物言ってくれたり、福引でペアの旅行券当てたり（これは友人にあげました）けっこう働いてくれたりもしてくるのである。

だがそんな時2代目が消えた。

その1（後書き）

初投稿で「こちゃこちゃ」な所もあると思いますが読んでくれればうれしいです。

その2（前書き）

ひよんなことから俺黒田礼二の家に住み着いたもう一人の俺（2代目）

そんな2代目とともに日々の生活を暮らしていく、がある日2代目が消える

その2

いつものように「ただいま」と玄関を開けるといつもなら何かしらの言葉が返ってくるはずだったが

この日は無かった。

帰ってきてみると2代目がいないということはこれまでに無かったわけではないが、今回はいつもと違う

嫌な予感がしたからあいつがどこかに行った手がかりを探している
と、

「ピンポーン」とチャイム音が鳴った。

「帰ってきたか」と、つぶやきながら玄関の開けるとそこには2代目ではなく黒いグラサンに黒いスーツ

いかにも「自分は強面だよ」言ってるような服装の男が立っていた。
どなたですか？というとした矢先に男が

「まだ捕まっていなかったか、よかった」

「え？どういことですか」

「紹介が遅れて悪い俺は君を守りそしてある場所へ連れて行くためにここに来た、松本礼二だ」

案外普通の名前だった、しかもかぶってた。

さらに男は矢継ぎ早に

「それとここ数日から今日までにもう一人の君が消えただろう」

「何でそんなことを…」

「なんでかは後で説明する、それより我々に力を貸してほしい。さあ、車に乗ってくれ」

「誰ですかあなた、しかもどう言うことですか力を貸すって、説明も受けてないままだと驚きますよ

早く説明してください！」

男に向かって強い口調で言うと

「すまない、では説明しよう、我々の世界にはごくまれに人の脳よ

りもうひとつの自分が現実に創り出される。通称ドッペルゲンガーだ。ドッペルゲンガーたちは新しく創られたがゆえに生きたいという意思が強くもとの人間をこの世から消そうとしてしまう。だが君のは例外でそれをためらい逃げてしまったらしい。

だが我々は君のドッペルゲンガーを探すのではなく他のドッペルゲンガーのその能力や特性を生かして

地球のもとある人間を消し新しく世界を造ろうとする集団をつきとめ叩き潰すこのことに協力してほしい、もちろん金も出す。」

「だからって就活や学校だってあるのに……」

「つべこべ言わず乗るんだ！」

そう言われ俺の戦いが始まった。

その2（後書き）

この話のジャンルはなんなのかがはっきりしないと思いますが今後ともよろしく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3350ba/>

ドッペルゲンガーよ、さようなら

2012年1月13日20時51分発行